いつもありがとうございます。

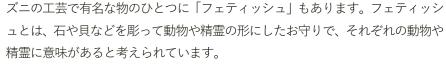
急激に冷え込んできた今日この頃です。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃ いますか。

先月のアメリカ旅行の話にも登場した「ズニ」の話を今月は書きたいと思います。 ズニ族というと、インディアンジュエリーでとても有名な部族のひとつですので、 ご存知の方も多いかもしれません。

私達がズニの居住区に着いたのは19時すぎ。集落には街灯もほとんどなく、あ たりはもう真っ暗でした。村に1軒だけのB&B「Inn at Halona」に泊まり、翌 朝には出発という束の間の滞在でしたが、特筆すべきは、村の女性が作ってくれ た朝食。中でもブルーコーンパンケーキがシンプルで素朴ながら、とても美味し かったことです。あの朝食をまた食べに行きたいものです。

B&B に隣接したスーパーには、日用品や食料品とならんで、ジュエリー製作用 の工具や部品、ターコイズなどの原石を販売していました。多くの村民が、ジュ エリー製作に関係した仕事をされているのだろうと思います。

ターコイズというと誰もが鮮やかなブルーの石を想像すると思いますが、産地に よって色や柄に様々な特徴があります。また、着色した物や、粉末を練り固めた 物も多く、私の様な素人には見分けがつきませんが、容器に産地と処理済みかど うかを書いていましたので、スリーピングビューティという美しい名前の鉱山で 採れた小さなターコイズをゲットしました。



今ではアートやお土産として売られていますが、元々は動物に似た形の石をみつ けると、そこに特別な力が宿っていると考え、狩りや病気のお守りとしたそうで す。あらゆるものにスピリットが宿っていると考えるインディアンと、八百万の 神を祀る日本人の感覚とは似ている部分があるようです。

村の工芸品を販売する「Trading Post」と呼ばれるお店で、大量のフェティッシ ュを見ているうちに、自分も欲しくなってクマを2つ購入しました。このあとサ ンタフェに行って、更に2つクマをゲット。たまたま目が合ったというだけで、 クマ好きというわけではないのですが、きっと今の私に必要なのはクマの叡智な のかもしれません。

フェティッシュには、口から心臓に向けて「ハート ライン」と呼ばれる矢印が描かれていることがあり ます。これは生命力を表しているそうです。また、 矢じりや宝石や羽根を背負っているものもあります。 お宝だと思っていたのですが、これは動物たちの魔 除けなのだそうです。



温度変化が激しくて身体もびっくりしています。 みなさま、暖かくして充分ご自愛くださいませ。



-コイズの原石がゴロゴロ



サンタフェのギャラリーで、ショ ースの写真を撮らせて頂きました。フ ェティッシュ大集合!!





(上)大理石 Tony Laiwakete 作 (下)ターコイズ Mike Mahooty 作 (左)ドロマイト Andress Quandelacy 作